

戦争の記憶を次の世代へ

平和都市宣言25周年事業～戦争体験記を発刊



市は、戦争の記憶を語り継ぎ、再び惨禍を繰り返さないために、戦争体験記を発刊します。この戦争体験記は、平成4年の立川市平和都市宣言から25周年を迎えるにあたり、50人を超える方から寄稿された戦争体験をまとめたものです。戦争を次世代に語り継ぐとともに、平和の大切さについて、あらためて考えてみませんか。

生涯学習推進センター ☎ (527) 5757

◀ 「市政50周年記念 写真集 たちかわ」より「空襲される立川」

技研と高松町の思い出

小川 輝一さん

東町（現在のグランドホテル近辺）で生まれた私は、昭和18年に立川基地内にあった陸軍航空技術研究所に就職した。終戦後は高松町に住居を構えた。立川駅周辺は米軍のジープが走り回り、携帯食料を大人にも子どもにも与えていた。戦争には負けたものの、日本人が時代へ適応するたくましさには目を見張ったものがある。



砂川空襲の記録

豊泉 喜一さん

私は中学3年で学徒動員され、八王子にあった軍用の味噌工場で働いていた。最も大きな被害があったのは昭和20年4月24日の空襲で、砂川七番・八番に多数の爆弾が落とされ、砂川国民学校は全壊し、教員や同級生、避難してきていた立川飛行機の工員など、あわせて144人もの方が亡くなった。今でも飛行機雲を引きながら飛んでいる飛行機を見ると、あの頃連日空襲にやってきたB29を思い出す。



愛馬の召集

平野 八重子さん

太平洋戦争になる3年前の昭和13年、我が家にいた馬にも召集令状が来た。「竜光号」という雄の血統書付きの名馬で、突然の召集令状に驚きと悲しみは計り知れないものがあった。2年が過ぎたころ、一人の軍人さんが我が家を訪ね、馬の「たてがみ」を持ってきた。馬も家族の一員。戦死したといわれ、悲しみも憤りも口には出せない時代、遠い所からたてがみを届けにきてくれた方に心からの感謝の念に堪えなかった。



戦争体験記を読むには

12月1日(木)から次の場所で無料で配布します。また、市ホームページから閲覧できるほか、各市立図書館で貸し出しもします。
●配布場所 各地域学習館、歴史民俗資料館、生涯学習情報コーナー(女性総合センター1階)、市政情報コーナー(市役所3階)

上記の文章は、体験記の中から一部を抜粋し短くまとめたものです。

平成29年 資源とごみの収集カレンダーを配布します

平成29年の「資源とごみの収集カレンダー」を12月5日(月)～12日(月)に全戸配布します。1年間の資源とごみを出す日が分かる冊子です。大切に保管してご活用ください。
☎ごみ対策課・内線6754



外国人の方へ

資源とごみの収集カレンダーを配ります。分別方法をさらに詳しく知りたい外国人の方は市役所などで配る外国語版「資源とごみの分別ハンドブック」をご覧ください。

To All Foreign Residents of Tachikawa City

Resources and Waste Collection Calendar will be distributed to each household. To get more information on sorting in English, see Resources and Waste Sorting Handbook available at Tachikawa City Hall and other places.

敬启各位外国人士

分发资源和垃圾的收集月历。
想更加详细地知道分类方法的国外人士
请参考市政府等分发的外语版「资源和垃圾的分类手册」。

외국인 여러분들에게

재활용 쓰레기 수집 달력을 배부합니다. 분리 수거 방법을 자세히 알고 싶은 분은 시청 등에 배포되어 있는 외국어판(재활용 그리고 쓰레기 분리 핸드북)을 참조하시기 바랍니다.

「これは資源、ごみどっちかな」「どうやって出せばいいのかな」など疑問に思っていることはありませんか。資源やごみの映像やサンプルを使い、正しい分別方法を説明します。また、ごみに関する疑問や分別に關しての質問等にも答えます。対象は5人以上の市民グループで、説明時間は約1時間です。会場は、各グループで確保をお願いします。市の施設を会場とする場合(減免制度あり)は、空き状況を確認の上、事前にごみ対策課へご連絡ください。また、生ごみの水切り推進の



ため、水切り器を使った実演や簡単な説明を行う「ちよこっと生ごみ説明会」も行っています。
☎ごみ対策課・内線6757
事業所のごみは、収集運搬業者との収集契約等により処理してください。
ごみの排出量が、1日平均10kg未満の場合は、事業系ごみ専用指定袋(オレンジ色)燃やせるごみ(紫色)燃やせないごみ(水色)プラスチック、ビニール、ペットボトルで出すこともできます。地域別担当業者に連絡の上、袋を購入してください。
ごみ対策課・内線6757

石油ストーブは灯油を抜いて粗大ごみへ
石油ストーブは、通常の収集には出せません。粗大ごみとして出すか、直接リサイクルセンターに持ち込んでください。粗大ごみは、粗大ごみ受付センター専用ダイヤル ☎ (531) 5311 で受け付けます。どちらの場合も、灯油が残っていると、収集・処理の際、発火する恐れがあります。必ず全て抜いてください。残っている灯油は、少量なら古布や古紙に染み込ませて燃やせるごみに出します。多量の場合は購入した店舗に引き取ってもらうか、ごみ対策課にお問い合わせください。
☎ごみ対策課・内線6751

